

令和 6 年度 病院事業決算状況

都道府県名 広島県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	県立広島病院	2	世羅中央病院企業団	公立世羅中央病院	20
-	県立安芸津病院	3			
広島市	広島市民病院	4			
広島市	安佐市民病院	5			
広島市	舟入市民病院	6			
広島市	安芸市民病院	7			
広島市	リハビリテーション病院	8			
呉市	公立下蒲刈病院	9			
尾道市	尾道市立市民病院	10			
尾道市	尾道市公立みつぎ総合病院	11			
福山市	福山市民病院	12			
府中市	府中市立湯が丘病院	13			
府中市	想定企業会計	14			
三次市	市立三次中央病院	15			
庄原市	庄原市立西城市民病院	16			
安芸太田町	安芸太田病院	17			
北広島町	北広島町豊平病院	18			
神石高原町	神石高原町立病院	19			

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名					
病院名 県立広島病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	68,179 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	650	86.0	80.1	80.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	50	73.2	51.9	17.2
感染症	-	-	-	-
計	700	85.4	78.8	80.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.0	9.8	10.2

設立団体の状況	
人口(人)	2,799,702
決算規模(千円)	1,074,265,129
標準財政規模(千円)	599,882,425
財政力指数	0.60229
経常収支比率(%)	94.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 14.8 188.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,152,050			
1 経常収益	26,150,399			
(1) 医業収益	24,217,213			
(うち修正医業収益)	23,881,696			
入院収益	16,720,893			
外来収益	6,836,568			
診療収入計	23,557,461			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	659,752			
(うち他会計負担金)	335,517			
(2) 医業外収益	1,933,186			
(うち国・都道府県補助金)	49,911			
(うち他会計補助・負担金)	1,318,459			
(うち長期前受金戻入)	454,731			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,651			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	27,220,169			
2 経常費用	27,211,432			
(1) 医業費用	25,829,938			
職員給与費	13,499,707	55.7	60.8	53.3
材料費	7,500,939	31.0	27.1	33.0
(うち薬品費)	4,264,113	17.6	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,232,151	13.3	11.8	14.1
減価償却費	1,168,465	4.8	8.6	7.4
経費	3,515,301	14.5	22.0	17.2
(うち委託料)	2,205,227	9.1	11.8	10.2
研究研修費	105,694			
資産減耗費	39,832			
(2) 医業外費用	1,381,494			
(うち支払利息)	79,479	0.3	0.9	0.7
(3) 特別損失	8,737			
経常損益	-1,061,033			
純損益	-1,068,119			
累積欠損金	21,130,834			
経常収支比率	96.1		93.0	94.3
医業収支比率	93.8		83.9	89.6
修正医業収支比率	92.5		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	90.0		81.6	87.1

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	22,523,538
1 固定資産	16,455,661
(1) 有形固定資産	15,820,509
(2) 無形固定資産	6,176
(3) 投資その他の資産	628,976
2 流動資産	6,067,877
(1) 現金及び預金	1,063,463
(2) 未収金及び未収収益	4,535,176
(3) 貸倒引当金()	28,057
(4) 貯蔵品	400,837
3 繰延資産	-
負債合計	22,770,791
1 固定負債	12,002,189
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,737,333
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,264,856
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,609,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,752,114
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	614,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,147,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,159,408
(1) 長期前受金	8,940,960
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,781,552
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-247,253
1 本金	29,032,120
2 剰余金	-29,279,373
(1) 資本剰余金	890,410
(2) 利益剰余金	-30,169,783
負債・資本合計	22,523,538
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	247,253
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,134,927	1,653,976
資本勘定繰入	602,060	624,998
計	1,736,987	2,278,974

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	117.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名					
病院名 県立安芸津病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ドI訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	11,654 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	98	76.7	63.5	61.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	76.7	63.5	61.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.2	17.9	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	2,799,702	
決算規模(千円)	1,074,265,129	
標準財政規模(千円)	599,882,425	
財政力指数	0.60229	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.8
	将来負担比率(%)	188.7

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,943,580			
1 経常収益	1,943,566			
(1) 医業収益	1,522,545			
(うち修正医業収益)	1,444,467			
入院収益	1,006,911			
外来収益	383,155			
診療収入計	1,390,066			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	132,479			
(うち他会計負担金)	78,078			
(2) 医業外収益	421,021			
(うち国・都道府県補助金)	1,186			
(うち他会計補助・負担金)	320,093			
(うち長期前受金戻入)	89,414			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,311,516			
2 経常費用	2,308,185			
(1) 医業費用	2,219,220			
職員給与費	1,265,341	83.1	60.8	82.0
材料費	256,515	16.8	27.1	14.2
(うち薬品費)	82,674	5.4	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	173,526	11.4	11.8	6.1
減価償却費	161,254	10.6	8.6	12.5
経費	526,293	34.6	22.0	34.4
(うち委託料)	306,218	20.1	11.8	16.9
研究研修費	5,134			
資産減耗費	4,683			
(2) 医業外費用	88,965			
(うち支払利息)	1,215	0.1	0.9	1.2
(3) 特別損失	3,331			
損益	-364,619			
純損益	-367,936			
累積欠損金	9,038,949			
経常収支比率	84.2		93.0	93.1
医業収支比率	68.6		83.9	69.6
修正医業収支比率	65.1		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.5		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	26.2		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	20.5		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	67.0		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	22,523,538
1 固定資産	16,455,661
(1) 有形固定資産	15,820,509
(2) 無形固定資産	6,176
(3) 投資その他の資産	628,976
2 流動資産	6,067,877
(1) 現金及び預金	1,063,463
(2) 未収金及び未収収益	4,535,176
(3) 貸倒引当金()	28,057
(4) 貯蔵品	400,837
3 繰延資産	-
負債合計	22,770,791
1 固定負債	12,002,189
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,737,333
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	6,264,856
(6) リース債務	-
2 流動負債	7,609,194
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,752,114
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	614,639
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	5,147,609
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,159,408
(1) 長期前受金	8,940,960
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,781,552
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-247,253
1 本金	29,032,120
2 剰余金	-29,279,373
(1) 資本剰余金	890,410
(2) 利益剰余金	-30,169,783
負債・資本合計	22,523,538
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	247,253
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	369,395	398,171
資本勘定繰入	66,164	66,164
計	435,559	464,335

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	117.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	広島市		
病院名	広島市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	720,666,916	
標準財政規模(千円)	358,258,463	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	161.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	228,255			
1 経常収益	228,255			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	228,255			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	228,255			
2 経常費用	228,255			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	228,255			
(うち支払利息)	228,255	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	広島市		
病院名	安佐市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	720,666,916	
標準財政規模(千円)	358,258,463	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	161.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,047			
1 経常収益	1,047			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,047			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,047			
2 経常費用	1,047			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	53.3
材料費	-	-	27.1	33.0
(うち薬品費)	-	-	14.8	18.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	14.1
減価償却費	-	-	8.6	7.4
経費	-	-	22.0	17.2
(うち委託料)	-	-	11.8	10.2
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,047			
(うち支払利息)	1,047	-	0.9	0.7
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	94.3
医業収支比率	-		83.9	89.6
修正医業収支比率	-		81.0	87.6
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	7.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	8.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	7.6
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	87.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	広島市		
病院名	舟入市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	720,666,916	
標準財政規模(千円)	358,258,463	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	161.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	31,812			
1 経常収益	31,812			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	31,812			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	31,812			
2 経常費用	31,812			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	31,812			
(うち支払利息)	31,812	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-

備考:
 当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名		広島市			
病院名		安芸市民病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	7,414 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	6	指定病院の状況	救	輸	
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	80	93.8	80.3	84.5
療養	60	97.2	93.3	95.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	95.2	85.9	89.3
平均在院日数(一般病床のみ)		17.2	14.8	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	720,666,916	
標準財政規模(千円)	358,258,463	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	161.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,177,247			
1 経常収益	2,176,165			
(1) 医業収益	1,985,893			
(うち修正医業収益)	1,977,902			
入院収益	1,438,988			
外来収益	473,657			
診療収入計	1,912,645			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	73,248			
(うち他会計負担金)	7,991			
(2) 医業外収益	190,272			
(うち国・都道府県補助金)	5,789			
(うち他会計補助・負担金)	87,365			
(うち長期前受金戻入)	54,216			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	1,082			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,178,641			
2 経常費用	2,177,929			
(1) 医業費用	2,158,337			
職員給与費	10,079	0.5	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	70,682	3.6	8.6	10.8
経費	2,077,473	104.6	22.0	29.9
(うち委託料)	75,999	3.8	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	103			
(2) 医業外費用	19,592			
(うち支払利息)	19,437	1.0	0.9	1.0
(3) 特別損失	712			
経常損益	-1,764			
純損益	-1,394			
累積欠損金	555,037			
経常収支比率	99.9		93.0	91.6
医業収支比率	92.0		83.9	77.4
修正医業収支比率	91.6		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.4		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	4.8		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	4.4		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	95.5		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	5,030,485
1 固定資産	3,436,040
(1) 有形固定資産	3,435,240
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	800
2 流動資産	1,594,445
(1) 現金及び預金	1,017,505
(2) 未収金及び未収収益	393,476
(3) 貸倒引当金()	18,747
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,116,619
1 固定負債	2,069,002
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,027,093
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	41,909
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	1,473,032
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,212
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	604
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	600,000
(8) 未払金及び未払費用	752,884
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	574,585
(1) 長期前受金	1,305,458
(2) 長期前受金収益化累計額()	730,873
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	913,866
1 本金	493,740
2 剰余金	420,126
(1) 資本剰余金	975,163
(2) 利益剰余金	-555,037
負債・資本合計	5,030,485
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	86,886	95,356
資本勘定繰入	69,530	116,509
計	156,416	211,865

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	広島市		
病院名	リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,200,754	
決算規模(千円)	720,666,916	
標準財政規模(千円)	358,258,463	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	97.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.8
	将来負担比率(%)	161.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	38,603			
1 経常収益	38,603			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	38,603			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	38,603			
2 経常費用	38,603			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	69.3
材料費	-	-	27.1	18.4
(うち薬品費)	-	-	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.1
減価償却費	-	-	8.6	10.8
経費	-	-	22.0	29.9
(うち委託料)	-	-	11.8	13.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	38,603			
(うち支払利息)	38,603	-	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	91.6
医業収支比率	-		83.9	77.4
修正医業収支比率	-		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	27.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	呉市				
病院名	公立下蒲刈病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,154 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	49	76.7	79.5	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	49	76.7	79.5	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		37.3	36.8	38.1

設立団体の状況		
人口(人)	214,592	
決算規模(千円)	110,877,191	
標準財政規模(千円)	56,759,176	
財政力指数	0.57	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	32.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	797,075			
1 経常収益	797,075			
(1) 医業収益	606,137			
(うち修正医業収益)	559,455			
入院収益	374,365			
外来収益	167,184			
診療収入計	541,549			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	64,588			
(うち他会計負担金)	46,682			
(2) 医業外収益	190,938			
(うち国・都道府県補助金)	421			
(うち他会計補助・負担金)	177,069			
(うち長期前受金戻入)	9,396			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	777,303			
2 経常費用	777,303			
(1) 医業費用	759,856			
職員給与費	553,376	91.3	60.8	92.5
材料費	41,701	6.9	27.1	14.2
(うち薬品費)	20,989	3.5	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	20,712	3.4	11.8	5.8
減価償却費	33,627	5.5	8.6	13.4
経費	130,034	21.5	22.0	47.6
(うち委託料)	86,729	14.3	11.8	23.6
研究研修費	634			
資産減耗費	484			
(2) 医業外費用	17,447			
(うち支払利息)	467	0.1	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	19,772			
純損失	19,772			
累積欠損金	405,499			
経常収支比率	102.5		93.0	95.6
医業収支比率	79.8		83.9	59.3
修正医業収支比率	73.6		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	28.1		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	36.9		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	28.1		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	73.8		81.6	60.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	800,643
1 固定資産	511,408
(1) 有形固定資産	508,847
(2) 無形固定資産	171
(3) 投資その他の資産	2,390
2 流動資産	289,235
(1) 現金及び預金	192,699
(2) 未収金及び未収収益	94,229
(3) 貸倒引当金()	577
(4) 貯蔵品	2,884
3 繰延資産	-
負債合計	389,062
1 固定負債	148,880
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	20,661
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	128,219
(6) リース債務	-
2 流動負債	79,514
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,901
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	30,831
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	23,853
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	160,668
(1) 長期前受金	399,715
(2) 長期前受金収益化累計額()	239,047
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	411,581
1 資本金	817,069
2 剰余金	-405,488
(1) 資本剰余金	11
(2) 利益剰余金	-405,499
負債・資本合計	800,643
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	223,751	223,751
資本勘定繰入	11,660	11,660
計	235,411	235,411

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	66.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	尾道市				
病院名	尾道市立市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	28,438 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	282	73.2	69.0	69.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	282	73.2	69.0	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	14.2	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	131,170	
決算規模(千円)	67,909,878	
標準財政規模(千円)	37,125,806	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	10.3

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	7,711,314				
1 経常収益	7,261,041				
(1) 医業収益	6,636,114				
(うち修正医業収益)	6,249,014				
入院収益	4,720,428				
外来収益	1,346,693				
診療収入計	6,067,121				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	568,993				
(うち他会計負担金)	387,100				
(2) 医業外収益	624,927				
(うち国・都道府県補助金)	-				
(うち他会計補助・負担金)	476,153				
(うち長期前受金戻入)	62,090				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	450,273				
(うち他会計繰入金)	450,000				
総費用	7,962,187				
2 経常費用	7,954,186				
(1) 医業費用	7,683,631				
職員給与費	4,552,724	68.6	60.8	66.2	
材料費	1,248,845	18.8	27.1	21.2	
(うち薬品費)	546,429	8.2	14.8	10.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	693,561	10.5	11.8	10.1	
減価償却費	463,867	7.0	8.6	9.5	
経費	1,372,712	20.7	22.0	28.6	
(うち委託料)	803,541	12.1	11.8	14.4	
研究研修費	19,892				
資産減耗費	25,591				
(2) 医業外費用	270,555				
(うち支払利息)	24,684	0.4	0.9	1.0	
(3) 特別損失	8,001				
経常損益	-693,145				
純損益	-250,873				
累積欠損金	770,740				
経常収支比率	91.3		93.0	89.9	
医業収支比率	86.4		83.9	79.3	
修正医業収支比率	81.3		81.0	75.9	
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.2	14.1	
他会計繰入金対医業収益比率	13.0		14.3	17.0	
他会計繰入金対総収益比率	17.0		12.3	14.6	
実質収益対経常費用比率	80.4		81.6	77.2	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	19,527,916
1 固定資産	12,064,862
(1) 有形固定資産	11,572,991
(2) 無形固定資産	1,969
(3) 投資その他の資産	489,902
2 流動資産	7,463,054
(1) 現金及び預金	5,531,285
(2) 未収金及び未収収益	1,851,658
(3) 貸倒引当金()	935
(4) 貯蔵品	72,661
3 繰延資産	-
負債合計	11,502,211
1 固定負債	7,358,339
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,927,587
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,416,791
(6) リース債務	13,961
2 流動負債	2,466,923
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	596,250
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	773,494
(6) リース債務	7,571
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,027,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,676,949
(1) 長期前受金	3,752,808
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,075,859
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	8,025,705
1 本金	8,399,181
2 剰余金	-373,476
(1) 資本剰余金	212,464
(2) 利益剰余金	-585,940
負債・資本合計	19,527,916
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,188,029	1,313,253
資本勘定繰入	297,613	70,500
計	1,485,642	1,383,753

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	尾道市				
病院名	尾道市公立みつぎ総合病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	20,677 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	145	73.6	72.4	75.8
療養	95	79.7	83.1	79.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	240	76.0	76.6	77.4
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	18.9	25.6

設立団体の状況		
人口(人)	131,170	
決算規模(千円)	67,909,878	
標準財政規模(千円)	37,125,806	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	98.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	10.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,464,733			
1 経常収益	6,011,713			
(1) 医業収益	4,658,564			
(うち修正医業収益)	4,400,512			
入院収益	2,614,850			
外来収益	882,666			
診療収入計	3,497,516			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,161,048			
(うち他会計負担金)	258,052			
(2) 医業外収益	1,353,149			
(うち国・都道府県補助金)	734			
(うち他会計補助・負担金)	425,793			
(うち長期前受金戻入)	101,102			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	453,020			
(うち他会計繰入金)	450,000			
総費用	6,669,859			
2 経常費用	6,667,882			
(1) 医業費用	5,510,472			
職員給与費	3,763,347	80.8	60.8	66.2
材料費	482,607	10.4	27.1	21.2
(うち薬品費)	189,313	4.1	14.8	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	269,104	5.8	11.8	10.1
減価償却費	322,148	6.9	8.6	9.5
経費	920,024	19.7	22.0	28.6
(うち委託料)	500,692	10.7	11.8	14.4
研究研修費	14,128			
資産減耗費	8,218			
(2) 医業外費用	1,157,410			
(うち支払利息)	12,678	0.3	0.9	1.0
(3) 特別損失	1,977			
経常損益	-656,169			
純損益	-205,126			
累積欠損金	353,200			
経常収支比率	90.2		93.0	89.9
医業収支比率	84.5		83.9	79.3
修正医業収支比率	79.9		81.0	75.9
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		12.2	14.1
他会計繰入金対医業収益比率	14.7		14.3	17.0
他会計繰入金対総収益比率	17.5		12.3	14.6
実質収益対経常費用比率	79.9		81.6	77.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	19,527,916
1 固定資産	12,064,862
(1) 有形固定資産	11,572,991
(2) 無形固定資産	1,969
(3) 投資その他の資産	489,902
2 流動資産	7,463,054
(1) 現金及び預金	5,531,285
(2) 未収金及び未収収益	1,851,658
(3) 貸倒引当金()	935
(4) 貯蔵品	72,661
3 繰延資産	-
負債合計	11,502,211
1 固定負債	7,358,339
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,927,587
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	4,416,791
(6) リース債務	13,961
2 流動負債	2,466,923
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	596,250
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	773,494
(6) リース債務	7,571
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,027,546
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,676,949
(1) 長期前受金	3,752,808
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,075,859
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	8,025,705
1 本金	8,399,181
2 剰余金	-373,476
(1) 資本剰余金	212,464
(2) 利益剰余金	-585,940
負債・資本合計	19,527,916
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	582,464	1,133,845
資本勘定繰入	177,216	106,350
計	759,680	1,240,195

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	福山市				
病院名	福山市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓カ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	49,235 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨が感災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	500	81.5	76.0	69.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	9.2	15.6	50.9
計	506	80.7	75.3	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.7	9.4	9.4

設立団体の状況		
人口(人)	460,930	
決算規模(千円)	213,262,271	
標準財政規模(千円)	113,057,847	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	84.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	21,603,718				
1 経常収益	21,603,718				
(1) 医業収益	20,172,931				
(うち修正医業収益)	20,027,453				
入院収益	13,650,175				
外来収益	6,156,386				
診療収入計	19,806,561				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	366,370				
(うち他会計負担金)	145,478				
(2) 医業外収益	1,430,787				
(うち国・都道府県補助金)	79,926				
(うち他会計補助・負担金)	468,371				
(うち長期前受金戻入)	671,673				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	23,148,632				
2 経常費用	23,148,632				
(1) 医業費用	21,642,045				
職員給与費	10,413,961	51.6	60.8	53.3	
材料費	6,952,733	34.5	27.1	33.0	
(うち薬品費)	3,746,480	18.6	14.8	18.6	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,119,458	15.5	11.8	14.1	
減価償却費	1,048,048	5.2	8.6	7.4	
経費	3,037,025	15.1	22.0	17.2	
(うち委託料)	1,536,360	7.6	11.8	10.2	
研究研修費	94,247				
資産減耗費	96,031				
(2) 医業外費用	1,506,587				
(うち支払利息)	166,063	0.8	0.9	0.7	
(3) 特別損失	-				
経常損益	-1,544,914				
純損益	-1,544,914				
累積欠損金	-				
経常収支比率	93.3		93.0	94.3	
医業収支比率	93.2		83.9	89.6	
修正医業収支比率	92.5		81.0	87.6	
他会計繰入金対経常収益比率	2.8		12.2	7.6	
他会計繰入金対医業収益比率	3.0		14.3	8.5	
他会計繰入金対総収益比率	2.8		12.3	7.6	
実質収益対経常費用比率	90.7		81.6	87.1	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	32,253,508
1 固定資産	16,286,054
(1) 有形固定資産	14,279,628
(2) 無形固定資産	4,726
(3) 投資その他の資産	2,001,700
2 流動資産	15,967,454
(1) 現金及び預金	12,500,093
(2) 未収金及び未収収益	3,430,227
(3) 貸倒引当金()	43,765
(4) 貯蔵品	67,545
3 繰延資産	-
負債合計	22,404,417
1 固定負債	17,447,939
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	13,601,534
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	3,815,377
(6) リース債務	31,028
2 流動負債	3,625,063
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	919,848
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	454,367
(6) リース債務	7,154
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,168,554
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,331,415
(1) 長期前受金	15,138,756
(2) 長期前受金収益化累計額()	13,807,341
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,849,091
1 資本金	2,539,289
2 剰余金	7,309,802
(1) 資本剰余金	445,996
(2) 利益剰余金	6,863,806
負債・資本合計	32,253,508
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	613,849	613,849
資本勘定繰入	638,707	638,707
計	1,252,556	1,252,556

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	府中市				
病院名	府中市立湯が丘病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	8,765 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	308	50.1	52.3	58.1
感染症	-	-	-	-
計	308	50.1	52.3	58.1
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	37,655	
決算規模(千円)	25,133,956	
標準財政規模(千円)	12,081,671	
財政力指数	0.44	
経常収支比率(%)	97.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	39.1

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	1,347,911				
1 経常収益	1,347,911				
(1) 医業収益	848,023				
(うち修正医業収益)	848,023				
入院収益	793,592				
外来収益	39,907				
診療収入計	833,499				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	14,524				
(うち他会計負担金)	-				
(2) 医業外収益	499,888				
(うち国・都道府県補助金)	986				
(うち他会計補助・負担金)	478,442				
(うち長期前受金戻入)	11,688				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,335,229				
2 経常費用	1,335,229				
(1) 医業費用	1,305,888				
職員給与費	968,084	114.2	60.8	108.5	
材料費	44,544	5.3	27.1	9.4	
(うち薬品費)	28,940	3.4	14.8	6.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	14,489	1.7	11.8	1.4	
減価償却費	69,790	8.2	8.6	12.6	
経費	221,790	26.2	22.0	34.8	
(うち委託料)	123,171	14.5	11.8	15.4	
研究研修費	1,428				
資産減耗費	252				
(2) 医業外費用	29,341				
(うち支払利息)	652	0.1	0.9	2.1	
(3) 特別損失	-				
経常損益	12,682				
純損益	12,682				
累積欠損金	184,331				
経常収支比率	100.9		93.0	95.5	
医業収支比率	64.9		83.9	60.3	
修正医業収支比率	64.9		81.0	57.7	
他会計繰入金対経常収益比率	35.5		12.2	35.6	
他会計繰入金対医業収益比率	56.4		14.3	58.4	
他会計繰入金対総収益比率	35.5		12.3	35.3	
実質収益対経常費用比率	65.1		81.6	61.5	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,323,577
1 固定資産	1,231,313
(1) 有形固定資産	794,242
(2) 無形固定資産	3,520
(3) 投資その他の資産	433,551
2 流動資産	2,092,264
(1) 現金及び預金	1,949,023
(2) 未収金及び未収収益	144,481
(3) 貸倒引当金()	5,635
(4) 貯蔵品	4,198
3 繰延資産	-
負債合計	1,525,037
1 固定負債	1,095,392
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	489,327
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	606,065
(6) リース債務	-
2 流動負債	327,714
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	130,033
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,955
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	132,134
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	101,931
(1) 長期前受金	391,419
(2) 長期前受金収益化累計額()	289,488
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,798,540
1 本金	2,014,443
2 剰余金	-215,903
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-215,903
負債・資本合計	3,323,577
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	455,442	478,442
資本勘定繰入	74,822	74,822
計	530,264	553,264

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	75.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	府中市		
病院名	想定企業会計		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	37,655
決算規模(千円)	25,133,956
標準財政規模(千円)	12,081,671
財政力指数	0.44
経常収支比率(%)	97.6
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,558			
1 経常収益	10,558			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	10,558			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,558			
2 経常費用	10,558			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	-	-	8.6	12.5
経費	-	-	22.0	34.4
(うち委託料)	-	-	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	10,558			
(うち支払利息)	10,558	-	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	455,566			
経常収支比率	100.0		93.0	93.1
医業収支比率	-		83.9	69.6
修正医業収支比率	-		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	-		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	100.0		81.6	68.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	75.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	三次市				
病院名	市立三次中央病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	23,120 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	30	指定病院の状況	救臨がへ災地輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	328	71.6	66.1	61.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	328	71.6	66.1	61.6
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.1	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	50,681	
決算規模(千円)	40,060,196	
標準財政規模(千円)	22,504,584	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	98.1	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.2
	将来負担比率(%)	35.5

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	9,773,723				
1 経常収益	9,767,606				
(1) 医業収益	9,049,265				
(うち修正医業収益)	9,008,045				
入院収益	5,428,187				
外来収益	3,199,128				
診療収入計	8,627,315				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	421,950				
(うち他会計負担金)	41,220				
(2) 医業外収益	718,341				
(うち国・都道府県補助金)	66,092				
(うち他会計補助・負担金)	354,780				
(うち長期前受金戻入)	238,021				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	6,117				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	10,496,984				
2 経常費用	10,477,086				
(1) 医業費用	9,977,151				
職員給与費	4,786,789	52.9	60.8	61.3	
材料費	2,891,473	32.0	27.1	26.2	
(うち薬品費)	1,796,714	19.9	14.8	14.5	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,021,210	11.3	11.8	11.2	
減価償却費	603,548	6.7	8.6	8.5	
経費	1,642,378	18.1	22.0	21.8	
(うち委託料)	1,036,554	11.5	11.8	11.9	
研究研修費	44,976				
資産減耗費	7,987				
(2) 医業外費用	499,935				
(うち支払利息)	10,352	0.1	0.9	0.9	
(3) 特別損失	19,898				
損益	-709,480				
純損益	-723,261				
累積欠損金	-				
経常収支比率	93.2		93.0	92.2	
医業収支比率	90.7		83.9	84.6	
修正医業収支比率	90.3		81.0	81.8	
他会計繰入金対経常収益比率	4.1		12.2	10.8	
他会計繰入金対医業収益比率	4.4		14.3	12.4	
他会計繰入金対総収益比率	4.1		12.3	10.7	
実質収益対経常費用比率	89.4		81.6	82.3	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	14,035,248
1 固定資産	10,767,752
(1) 有形固定資産	6,051,680
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	4,716,072
2 流動資産	3,267,496
(1) 現金及び預金	1,337,272
(2) 未収金及び未収収益	1,800,694
(3) 貸倒引当金()	11,231
(4) 貯蔵品	140,015
3 繰延資産	-
負債合計	6,310,950
1 固定負債	3,108,650
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,178,194
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,921,798
(6) リース債務	8,658
2 流動負債	1,412,821
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	340,967
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	325,189
(6) リース債務	5,623
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	724,501
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,789,479
(1) 長期前受金	4,636,479
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,847,000
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	7,724,298
1 資本金	4,784,176
2 剰余金	2,940,122
(1) 資本剰余金	130,337
(2) 利益剰余金	2,809,785
負債・資本合計	14,035,248
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	825,510	396,000
資本勘定繰入	429,146	236,700
計	1,254,656	632,700

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	庄原市				
病院名	庄原市立西城市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,099 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	54	79.2	80.9	78.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	54	79.2	80.9	78.6
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	19.3	19.2

設立団体の状況		
人口(人)	33,633	
決算規模(千円)	33,224,125	
標準財政規模(千円)	18,168,846	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	97.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	66.7

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,449,137			
1 経常収益	1,449,137			
(1) 医業収益	973,497			
(うち修正医業収益)	924,754			
入院収益	451,636			
外来収益	422,357			
診療収入計	873,993			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	99,504			
(うち他会計負担金)	48,743			
(2) 医業外収益	475,640			
(うち国・都道府県補助金)	5,696			
(うち他会計補助・負担金)	185,424			
(うち長期前受金戻入)	20,204			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,380,483			
2 経常費用	1,380,483			
(1) 医業費用	1,343,049			
職員給与費	874,921	89.9	60.8	82.0
材料費	102,041	10.5	27.1	14.2
(うち薬品費)	37,603	3.9	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	64,438	6.6	11.8	6.1
減価償却費	64,795	6.7	8.6	12.5
経費	299,831	30.8	22.0	34.4
(うち委託料)	140,382	14.4	11.8	16.9
研究研修費	1,015			
資産減耗費	446			
(2) 医業外費用	37,434			
(うち支払利息)	1,708	0.2	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	68,654			
純損益	68,654			
累積欠損金	124,258			
経常収支比率	105.0		93.0	93.1
医業収支比率	72.5		83.9	69.6
修正医業収支比率	68.9		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.2		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	24.1		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	16.2		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	88.0		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	1,986,832
1 固定資産	663,011
(1) 有形固定資産	642,881
(2) 無形固定資産	20,130
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,323,821
(1) 現金及び預金	1,133,568
(2) 未収金及び未収収益	188,916
(3) 貸倒引当金()	746
(4) 貯蔵品	2,083
3 繰延資産	-
負債合計	371,448
1 固定負債	55,698
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	55,698
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	162,777
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	43,698
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	65,448
(6) リース債務	52
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,631
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	152,973
(1) 長期前受金	512,274
(2) 長期前受金収益化累計額()	359,301
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,615,384
1 資本金	1,703,681
2 剰余金	-88,297
(1) 資本剰余金	35,961
(2) 利益剰余金	-124,258
負債・資本合計	1,986,832
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	222,796	234,167
資本勘定繰入	33,486	33,486
計	256,282	267,653

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	12.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	安芸太田町				
病院名	安芸太田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	10,979 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	その他		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	53	83.1	84.7	83.7
療養	42	78.8	73.5	77.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	20.1
感染症	-	-	-	-
計	95	81.2	79.3	62.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.6	21.1	21.3

設立団体の状況		
人口(人)	5,740	
決算規模(千円)	8,804,469	
標準財政規模(千円)	4,975,583	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,022,823				
1 経常収益	2,018,580				
(1) 医業収益	1,553,211				
(うち修正医業収益)	1,497,379				
入院収益	937,852				
外来収益	419,645				
診療収入計	1,357,497				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	195,714				
(うち他会計負担金)	55,832				
(2) 医業外収益	465,369				
(うち国・都道府県補助金)	14,699				
(うち他会計補助・負担金)	336,138				
(うち長期前受金戻入)	94,336				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	4,243				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,021,950				
2 経常費用	2,014,855				
(1) 医業費用	1,950,144				
職員給与費	1,189,767	76.6	60.8	82.0	
材料費	210,910	13.6	27.1	14.2	
(うち薬品費)	71,615	4.6	14.8	7.3	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	112,104	7.2	11.8	6.1	
減価償却費	193,984	12.5	8.6	12.5	
経費	349,622	22.5	22.0	34.4	
(うち委託料)	146,014	9.4	11.8	16.9	
研究研修費	5,845				
資産減耗費	16				
(2) 医業外費用	64,711				
(うち支払利息)	6,229	0.4	0.9	1.2	
(3) 特別損失	7,095				
損益	3,725				
純損益	873				
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.2		93.0	93.1	
医業収支比率	79.6		83.9	69.6	
修正医業収支比率	76.8		81.0	65.2	
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		12.2	26.7	
他会計繰入金対医業収益比率	25.2		14.3	38.3	
他会計繰入金対総収益比率	19.4		12.3	26.8	
実質収益対経常費用比率	80.7		81.6	68.2	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,342,228
1 固定資産	1,991,074
(1) 有形固定資産	1,979,920
(2) 無形固定資産	894
(3) 投資その他の資産	10,260
2 流動資産	1,351,154
(1) 現金及び預金	1,066,078
(2) 未収金及び未収収益	276,600
(3) 貸倒引当金()	154
(4) 貯蔵品	7,480
3 繰延資産	-
負債合計	1,708,549
1 固定負債	463,817
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	463,817
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	215,752
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	50,555
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	68,950
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	94,930
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,028,980
(1) 長期前受金	1,838,383
(2) 長期前受金収益化累計額()	809,403
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,633,679
1 本金	1,334,906
2 剰余金	298,773
(1) 資本剰余金	49,618
(2) 利益剰余金	249,155
負債・資本合計	3,342,228
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	386,671	391,970
資本勘定繰入	40,488	5,000
計	427,159	396,970

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	北広島町		
病院名	北広島町豊平病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	17,763	
決算規模(千円)	17,886,477	
標準財政規模(千円)	9,619,385	
財政力指数	0.36	
経常収支比率(%)	89.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.1
	将来負担比率(%)	44.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,354			
1 経常収益	7,354			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	7,354			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	7,354			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,354			
2 経常費用	7,354			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.8	92.5
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.8
減価償却費	-	-	8.6	13.4
経費	-	-	22.0	47.6
(うち委託料)	-	-	11.8	23.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	7,354			
(うち支払利息)	7,354	-	0.9	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	95.6
医業収支比率	-		83.9	59.3
修正医業収支比率	-		81.0	54.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.2	36.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.3	63.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.3	36.8
実質収益対経常費用比率	-		81.6	60.3

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	4,903	7,354
資本勘定繰入	37,583	56,375
計	42,486	63,729

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)				都道府県名	
				広島県	
市町村・組合名	神石高原町				
病院名	神石高原町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,530 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	7	指定病院の状況	救へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	60	78.6	73.1	73.5
療養	-	-	-	60.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	78.6	73.1	72.9
平均在院日数(一般病床のみ)		36.5	30.3	26.4

設立団体の状況		
人口(人)	8,250	
決算規模(千円)	12,384,299	
標準財政規模(千円)	6,366,573	
財政力指数	0.20	
経常収支比率(%)	81.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	440,446			
1 経常収益	440,446			
(1) 医業収益	19,086			
(うち修正医業収益)	1,006			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	19,086			
(うち他会計負担金)	18,080			
(2) 医業外収益	421,360			
(うち国・都道府県補助金)	3,910			
(うち他会計補助・負担金)	310,733			
(うち長期前受金戻入)	25,929			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	440,234			
2 経常費用	440,234			
(1) 医業費用	437,770			
職員給与費	-	-	60.8	82.0
材料費	-	-	27.1	14.2
(うち薬品費)	-	-	14.8	7.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.1
減価償却費	153,189	802.6	8.6	12.5
経費	284,248	1489.3	22.0	34.4
(うち委託料)	19,287	101.1	11.8	16.9
研究研修費	-			
資産減耗費	333			
(2) 医業外費用	2,464			
(うち支払利息)	2,454	12.9	0.9	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損益	212			
純損益	212			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		93.0	93.1
医業収支比率	4.4		83.9	69.6
修正医業収支比率	0.2		81.0	65.2
他会計繰入金対経常収益比率	74.7		12.2	26.7
他会計繰入金対医業収益比率	1722.8		14.3	38.3
他会計繰入金対総収益比率	74.7		12.3	26.8
実質収益対経常費用比率	25.4		81.6	68.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	3,811,975
1 固定資産	3,355,249
(1) 有形固定資産	3,247,466
(2) 無形固定資産	1,049
(3) 投資その他の資産	106,734
2 流動資産	456,726
(1) 現金及び預金	419,256
(2) 未収金及び未収収益	37,470
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,531,799
1 固定負債	1,266,174
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,266,174
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
2 流動負債	67,878
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,481
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	56,397
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,197,747
(1) 長期前受金	2,428,875
(2) 長期前受金収益化累計額()	231,128
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	280,176
1 資本金	-
2 剰余金	280,176
(1) 資本剰余金	261,095
(2) 利益剰余金	19,081
負債・資本合計	3,811,975
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	349,710	328,813
資本勘定繰入	8,782	17,564
計	358,492	346,377

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和6年度)		都道府県名	
		広島県	
市町村・組合名	世羅中央病院企業団		
病院名	公立世羅中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	15,154 m ²	不採算地区中核病院	第1種該当
診療科数	18	指定病院の状況	救臨 へ 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和6年度	令和5年度	令和4年度
一般	155	89.6	87.3	87.9
療養	-	68.7	73.1	95.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	155	89.4	85.5	88.8
平均在院日数(一般病床のみ)		17.0	14.7	16.7

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,373,210			
1 経常収益	3,373,210			
(1) 医業収益	3,033,695			
(うち修正医業収益)	2,856,510			
入院収益	1,963,442			
外来収益	643,279			
診療収入計	2,606,721			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	426,974			
(うち他会計負担金)	177,185			
(2) 医業外収益	339,515			
(うち国・都道府県補助金)	5,617			
(うち他会計補助・負担金)	200,472			
(うち長期前受金戻入)	111,512			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,657,536			
2 経常費用	3,657,536			
(1) 医業費用	3,618,379			
職員給与費	2,157,335	71.1	60.8	69.3
材料費	432,648	14.3	27.1	18.4
(うち薬品費)	251,323	8.3	14.8	8.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	146,228	4.8	11.8	9.1
減価償却費	216,959	7.2	8.6	10.8
経費	760,721	25.1	22.0	29.9
(うち委託料)	270,318	8.9	11.8	13.7
研究研修費	49,114			
資産減耗費	1,602			
(2) 医業外費用	39,157			
(うち支払利息)	12,468	0.4	0.9	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-284,326			
純損益	-284,326			
累積欠損金	731,094			
経常収支比率	92.2		93.0	91.6
医業収支比率	83.8		83.9	77.4
修正医業収支比率	78.9		81.0	73.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.2		12.2	17.7
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.3	22.2
他会計繰入金対総収益比率	11.2		12.3	17.9
実質収益対経常費用比率	81.9		81.6	75.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円)	
区分	決算額
資産合計	4,659,764
1 固定資産	3,090,719
(1) 有形固定資産	3,081,256
(2) 無形固定資産	6,613
(3) 投資その他の資産	2,850
2 流動資産	1,569,045
(1) 現金及び預金	1,079,834
(2) 未収金及び未収収益	465,938
(3) 貸倒引当金()	814
(4) 貯蔵品	24,086
3 繰延資産	-
負債合計	2,851,007
1 固定負債	1,161,868
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	705,125
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	456,743
(6) リース債務	-
2 流動負債	433,359
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	115,354
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	122,127
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	182,710
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,255,780
(1) 長期前受金	2,990,981
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,735,201
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,808,757
1 本金	2,477,048
2 剰余金	-668,291
(1) 資本剰余金	56,303
(2) 利益剰余金	-724,594
負債・資本合計	4,659,764
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	533,170	377,657
資本勘定繰入	197,068	197,068
計	730,238	574,725

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和6年度	-	-
令和5年度	-	-
令和4年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	24.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。